

シラバス

授業のタイトル(科目名) 精神保健福祉制度論		授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)		授業担当者 平川 泰士	
授業の回数 15回	時間数(単位数) 30時間(2単位)	配当学年・時期 3学年2学期		必修・選択 選択	
【授業の目的・ねらい・到達目標】 ・精神保健福祉における法制度・施策の概要と課題について理解する。 ・医療・生活支援・経済的支援に関する法制度・施策について理解し、法制度・施策における精神保健福祉士の役割を理解する。 ・精神保健福祉の各法制度の内容、限界と課題について理解し、援助場面において活用できるようになる。					
【授業計画】 1 精神保健福祉に関する法制度・施策の概要 2 精神保健福祉士法と精神保健福祉士の役割:精神保健福祉法の概要と関係施策 3 精神保健福祉士法と精神保健福祉士の役割:入院形態、入院の方法、移送制度 4 精神保健福祉士法と精神保健福祉士の役割:人権擁護のための制度 5 医療観察法と精神保健福祉士の役割:医療観察法:対象、審判から処遇の流れ 6 医療観察法と精神保健福祉士の役割:医療観察法:社会復帰調整官等の役割 7 医療に関する法制度と精神保健福祉士の役割:医療における課題 8 生活支援に関する法制度と精神保健福祉士の役割:相談支援制度 9 生活支援に関する法制度と精神保健福祉士の役割:居住支援制度 10 生活支援に関する法制度と精神保健福祉士の役割:就労支援制度 11 生活支援に関する法制度と精神保健福祉士の役割:生活支援制度の課題 12 経済的支援に関する法制度と精神保健福祉士の役割:生活保護制度 13 経済的支援に関する法制度と精神保健福祉士の役割:生活困窮者支援制度 14 経済的支援に関する法制度と精神保健福祉士の役割:低所得者支援 15 経済的支援に関する法制度と精神保健福祉士の役割:経済的支援の課題					
【使用テキスト・参考文献】 別途指定			【単位認定の方法及び基準】 講義時の指定の課題・提出物(30%)、期末試験(70%)を総合し、評価を行う。		